

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	筋力低下などによる転倒リスク	それまでの暮らしで行っていたような日常生活を安全行って頂き、自身で出来る喜びを感じていただく。	職員がフォローや見守りを行い、出来る事は自身でやっていただく機会・空間づくりを行う。又、体操や散歩などへの参加を促し、筋力低下を防ぐよう努める。	12ヶ月
2	48	レクリエーションに参加する意欲がうすい	レクリエーションの参加により日々の暮らしを楽しみ、作る喜び、達成する喜びを感じていただく。	レクリエーションの内容や声かけの仕方・タイミングを考え、強要せず次へつなげられるよう楽しい雰囲気を作る。	3ヶ月
3	21	利用者様同士の対立	仲良く穏やかな日々を過ごしていただく。	一人一人が孤立してしまわないように工夫し、少しずつ利用者様同士の関わりを増やしていくように努める。	3ヶ月
4	45	入浴拒否	拒否傾向みられる利用者様も週最低2回の入浴をして頂き、清潔で健康な生活を送っていただく。又、希望される利用者様は随時入浴していただく。	入浴剤を入れるなどリラックスした雰囲気づくりを心がけ、職員と楽しく談笑しながら気持ちよく入浴できることを理解して頂けるよう工夫する。	3ヶ月
5	54	居室・クローゼット・タンス内の衣類等の散らかし	整理整頓し、気持ちの良い清潔な環境で居室を利用していただく。	掃除をする時間を決め、それ以外でも気付いた時にこまめに片付けを行うように心掛ける。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。